

薄付け仕上塗材・厚付け仕上塗材

# リシン・スタッコシリーズ

## 水系

- 砂壁状仕上げ
- スタッコ状仕上げ
- 意匠性
- 高性能

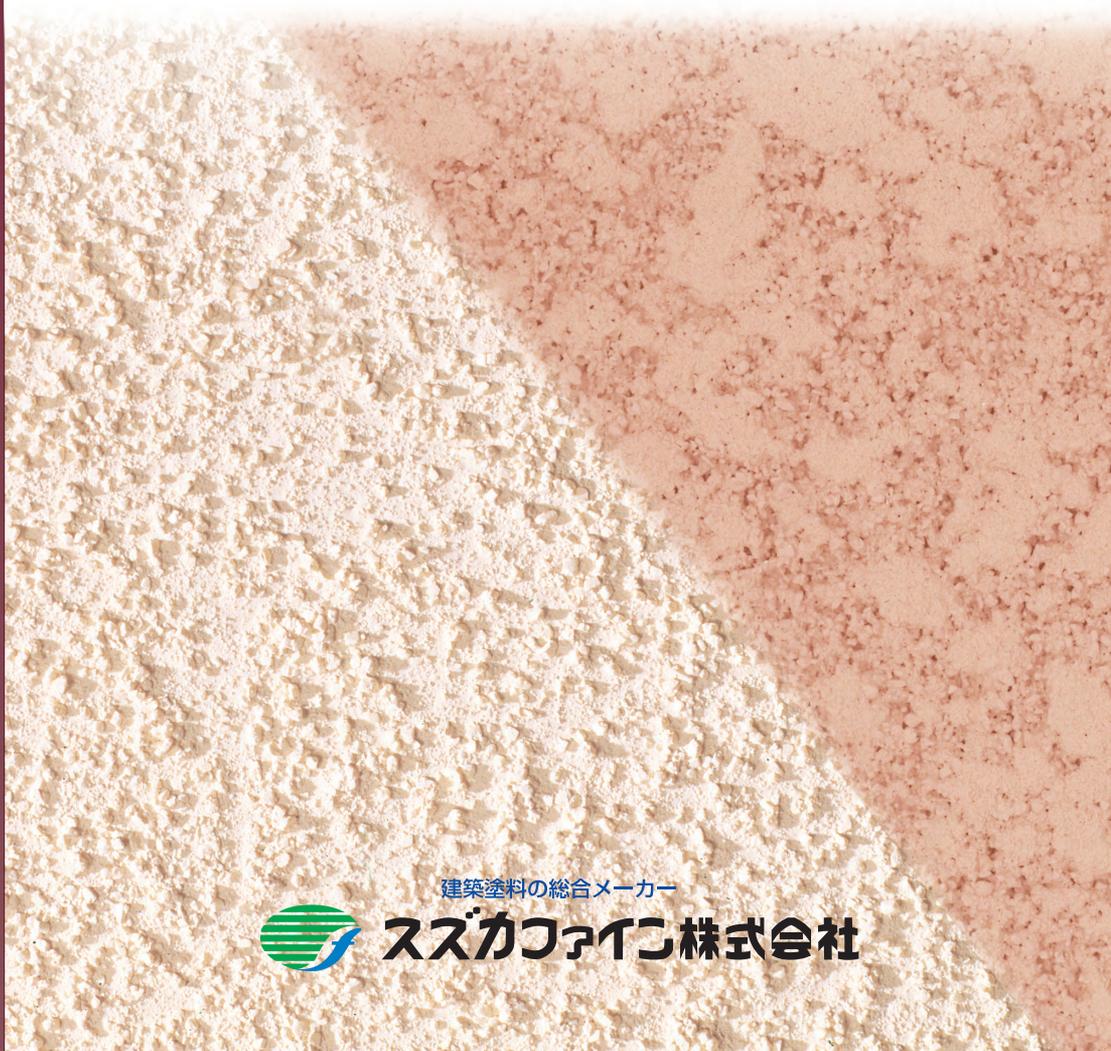
JIS A 6909 外装薄塗材E  
スズカリシン

JIS A 6909 外装薄塗材Si  
ラフトンシリカリシン

JIS A 6909 外装薄塗材E  
スズカロラーリシン

JIS A 6909 可とう形外装薄塗材E  
ラフトン弾性リシン

JIS A 6909 外装厚塗材E  
ラフトンスタッコ ラフトン弾性スタッコ



建築塗料の総合メーカー



SSK株式会社

# LITWIN STUCCO SERIES

【ご注意】 このファイルは、見本帳をPDFに変換している為、実物とは色差があります。

# LITHIN・STUCCO SERIES

ホルムアルデヒド放散等級

F☆☆☆☆

内装仕上げの制限なし

●JIS A 6909 外装合成樹脂エマルジョン系薄付け仕上げ塗材 (外装薄塗材E)

## スズカリシン

国土交通大臣認定  
防火材料  
品目名:有機質砂壁状塗料塗り  
NM-8572 不燃材料  
QM-9812 準不燃材料  
RM-9361 難燃材料

- アクリルエマルジョンを結合材とした砂壁状仕上げ塗材です。
- 水系で作業性に優れます。
- 塗膜は耐水性、耐アルカリ性に優れます。
- むらのない均一な仕上がりが得られ、色が自由に選択できます。

●JIS A 6909 外装合成樹脂エマルジョン系厚付け仕上げ塗材 (外装厚塗材E)

## ラフтонスタッコ

- 厚膜、重量感、立体感に富む、重厚な仕上げです。
- 色彩・パターンは、自由に選択できます。
- アクリル樹脂を用いていますので、耐久性に優れます。
- 水系で作業性に優れ、取扱いが容易です。

●JIS A 6909 外装けい酸質系薄付け仕上げ塗材 (外装薄塗材Si)

## ラフтонシリカリシン

国土交通大臣認定  
防火材料  
品目名:無機質砂壁状吹付材塗り  
NM-8571 不燃材料  
QM-9811 準不燃材料  
RM-9366 難燃材料

- シリカを結合材に用いた砂壁状仕上げ塗材です。
- 塗膜は付着性、耐アルカリ性に優れています。
- 速乾性ですので冬期の施工に最適です。

●アクリルゴムスタッコ

## ラフтон弾性スタッコ

- 可とう性塗膜は、下地に発生するヘアークラックに追従します。
- 大柄模様で豪華なイメージが得られます。
- 主成分のアクリルゴムは、耐水性・耐候性に優れます。
- 水系で施工性に優れます。

●JIS A 6909 外装合成樹脂エマルジョン系薄付け仕上げ塗材 (外装薄塗材E)

## スズカローラーリシン

- ローラー工法で仕上げる砂壁状仕上げ塗材です。
- 吹付工法のような材料の飛散がありませんので、簡単な養生で施工ができ、塗替えには最適です。
- 仕上りは細かい砂壁状です。

●JIS A 6909 可とう形外装合成樹脂エマルジョン系薄付け仕上げ塗材 (可とう形外装薄塗材E)

## ラフтон弾性リシン

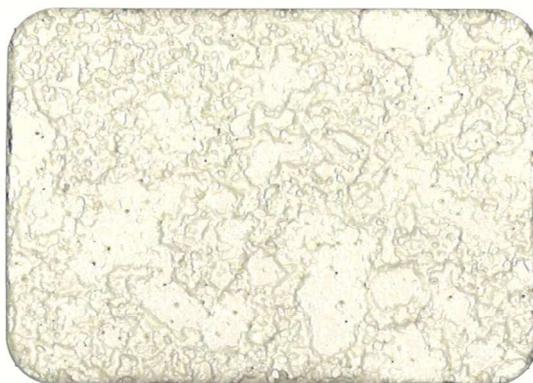
- 下地のヘアークラックに追従します。
- 幅広い温度範囲 (-20~+50℃) で優れた塗膜性能を発揮します。
- 弾性骨材のマイルドな砂壁状仕上げが得られます。
- 主成分のアクリルゴムは、付着性、耐候性、保色性に優れます。
- 骨材の落下が少なく、吹付作業性が良好です。

## ラフтонスタッコ



吹き放し仕上げ

↑ R346



凸部処理仕上げ (ラフтонEMエナメル塗り)

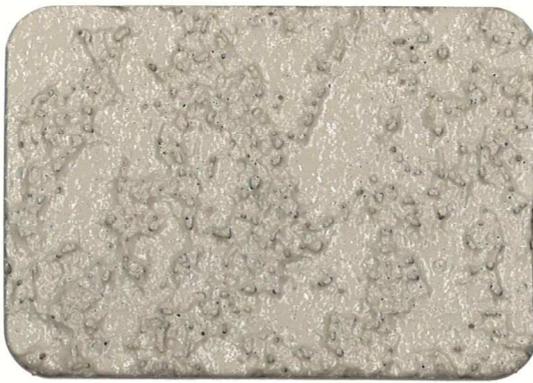
↑ A500

## ラフтон弾性スタッコ



吹き放し仕上げ

↑ R301



凸部処理仕上げ (ラフтон弾性EMエナメル塗り)

↑ A350

# リシン・スタッコシリーズ

共通色見本



↑ R350



↑ R344



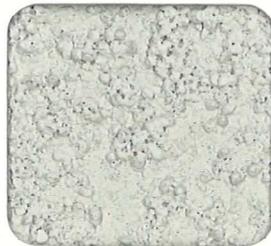
↑ R331



↑ R335



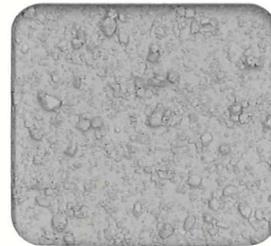
↑ R343



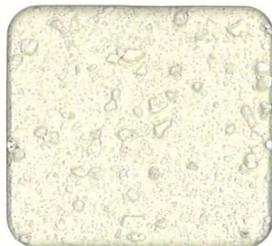
↑ R346



↑ R348



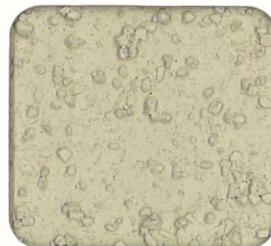
↑ R301



↑ R342



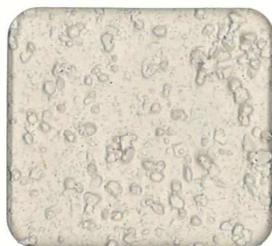
↑ R332



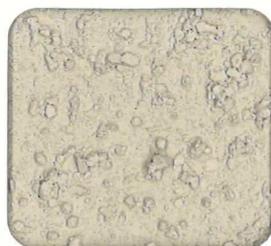
↑ R302



↑ R338



↑ R358



↑ R333



↑ R321



↑ R326



↑ R334



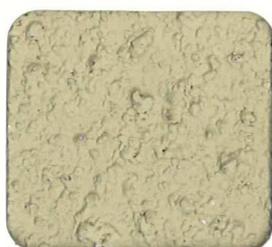
↑ R341



↑ R380



↑ R361



↑ R336



↑ R306



↑ R311  
スズカローラーリシン



↑ R312  
ラフトン弾性リシン

## お願い

- ご注文の際は、商品名（スズカリシン、ラフトンシリカリシン、スズカローラーリシン、ラフトン弾性リシン、ラフトンスタッコ、ラフトン弾性スタッコ）と色No.を明確にご指示ください。
- この共通色見本は紙に吹付けていますので、実際の仕上がりと、色・模様が多少異なります。ご了承ください。

標準施工仕様 □公共建築工事標準仕様書に基づく仕様の場合は、別途お問い合わせください。

工程	塗材	調合 (重量比)	標準所要量 (kg/m <sup>2</sup> )	塗回数	間隔時間 (23℃)	施工方法
1 下地調整	・下地は十分に乾燥させる。(含水率10%以下、pH10以下) ・こみ、汚れなどは除去し、段差・巣穴などは、ラフトンフィルター塗りで、平滑にする。					

■スズカリシン

2 下塗り	ラフトンEMシーラー 清 水	100 10~30	0.07~0.11	1	2時間以上	ほけ塗り ウールローラー塗り スプレー塗り
3 上吹き	スズカリシン 清 水	100 3~7	1.10~1.20	1~2	2時間以上 (最終養生) 24時間以上	吹付け ラフトン1号ガン スプレー(吹付圧0.3~0.5Mpa)

■ラフトンシリカリシン

2 下塗り	ラフトンEMシーラー 清 水	100 10~30	0.07~0.11	1	2時間以上	ほけ塗り ウールローラー塗り スプレー塗り
3 上吹き	ラフトンシリカリシン 清 水	100 3~7	1.10~1.20	1~2	2時間以上 (最終養生) 24時間以上	吹付け ラフトン1号ガン スプレー(吹付圧0.3~0.5Mpa)

■スズカローラーシン

2 下塗り	ラフトンEMシーラー 清 水	100 10~30	0.07~0.11	1	2時間以上	ほけ塗り ウールローラー塗り スプレー塗り
3 中塗り	スズカローラーシン 清 水	100 3~5	0.32~0.36 (kg/m <sup>2</sup> /回)	2	2時間以上 (最終養生) 24時間以上	ウールローラー塗り

■ラフトン弾性リシン

2 下塗り	サミブラ 清 水	100 0~5	0.08~0.10	1	3時間以上	ほけ塗り ウールローラー塗り スプレー塗り
3 上吹き	ラフトン弾性リシン 清 水	100 1~3	0.75~0.80 (kg/m <sup>2</sup> /回)	2	2時間以上 (最終養生) 24時間以上	吹付け ラフトン1号ガン スプレー(吹付圧0.3~0.5Mpa)

・スズカリシン、ラフトンシリカリシン、スズカローラーシンの場合、下塗りは、下地の状態により省略できます。  
 ・所要量は、全て標準のものです。施工方法・施工条件により多少の幅を生じることがあります。  
 ・吸い込みが著しい下地などの場合は、下塗りにビナクルシーラー・ラフトンエポキシシーラーなどをご使用ください。  
 ・ALC/パネル下地の場合は、スズカブラフサなどで全面に下地調整してください。  
 ※スズカリシン・ラフトンシリカリシンの防火認定に適合する下塗りは、ラフトンEMシーラー・透明型EMシーラー・サミブラ  
 ホワイト・サミブラ・AEPクリーンシーラーホワイト・AEPクリーンシーラー透明・カチオンシーラー-EPO。水性ビナクルです。

工程	塗材	調合 (重量比)	標準所要量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗回数	間隔時間 (23℃)	施工方法
1 下地調整	・下地は十分に乾燥させる。(含水率10%以下、pH10以下) ・こみ、汚れなどは除去し、段差・巣穴などは、ラフトンフィルター塗りで、平滑にする。					

■ラフトン弾性スタック  
吹き出し仕上げ

2 下塗り	サミブラ	100	0.08~0.10	1	3時間以上	エアレス塗り・ローラー塗り
3 主材吹き	基層塗り ラフトン弾性スタック 清 水	100 8~12	1.2~1.7	1	5時間以上	吹付け / 圧入 57mm口径 (吹付圧0.4~0.5MPa)
4 主材吹き	模様吹き ラフトン弾性スタック 清 水	100 0~2	3.0~3.5	1	(凸部処理) 30分以内 (上塗り) 24時間以上	吹付け / 圧入 57mm口径 (吹付圧0.3~0.4MPa)

凸部処理仕上げ

5 凸部処理 (主材模様吹き後、30分以内に塗料用シンナーを湿したカットローラーで主材の凸部を均一に押える。)

■ラフトン弾性スタック (つや有り仕上げ)

2 下塗り	サミブラ	100	0.08~0.10	1	3時間以上	エアレス塗り・ローラー塗り
3 主材吹き	基層塗り ラフトン弾性スタック 清 水	100 8~12	1.2~1.7	1	5時間以上	吹付け / 圧入 57mm口径 (吹付圧0.4~0.5MPa)
4 主材吹き	模様吹き ラフトン弾性スタック 清 水	100 0~2	3.0~3.5	1	(凸部処理) 30分以内 (上塗り) 16時間以上	吹付け / 圧入 57mm口径 (吹付圧0.3~0.4MPa)

・吸い込みが著しい下地などの場合は、下塗りにビナクルシーラーまたはラフトンエポキシシーラーをご使用ください。  
 ・ALC/パネル下地の場合は、スズカブラフサなどで全面に下地調整してください。

凸部処理仕上げ

5 凸部処理 (主材模様吹き後、30分以内に塗料用シンナーを湿したカットローラーで主材の凸部を均一に押える。)

5 上塗り  
ラフトン弾性EMエナメル  
清 水

5 上塗り  
エコウレタン  
清 水

施工上の注意事項

【下地調整】

- 不陸・巣穴・段差・ひび割れなどは、下地調整塗材(ラフトンフィルター)を塗り付け、平滑にしてください。(ALC/パネル面にはスズカブラフサなどが適します。)
- レイタンス、エフロ、離型剤などはすべて除去して、下地の表面強度は0.5N/mm以上を標準としてください。
- 改修工事の下地補修・処理は、入念に行ってください。また必要に応じてケレン、高圧水洗を施してください。
- シーリング材への直接塗装は、塗膜に割れ、剥がれ、汚れを生じることがあるため原則として行わないでください。塗装を行う場合は、必ずシーリング材が十分に硬化していることを確認の上、予めラフトン逆プライマーを塗装してください。
- シリコン系・シリコン系シーリング材の場合は2回塗りしてください。シリコン系及びブチルゴム系シーリング材へは、塗装を避けてください。

【施工時】

- 気温5℃以下、湿度85%以上の場合は、造膜性を低下させますので、施工は避けてください。
- 下地が未乾燥の場合、結露している場合、降雨・降雪が予想される場合、強風下(5m/秒以上)の場合は、施工を避けてください。
- 吸い込みの激しい下地などには、溶剤系シーラーを塗付してください。
- 材料は、骨材が均一になるまで十分にかくはんしてください。
- うすめすぎますと沈殿・沈下の原因になります。また、骨材のつき方(立ち方)に影響します。
- スプレーミストや臭い・蒸気などが、住居者・隣家・車庫などに、飛散しないように留意し、十分な養生を行ってください。
- 工程間の間隔時間は十分に取ってください。
- ラフトン弾性リシンの場合は、養生テープをカッターナイフなどでカットして取りはずしてください。

【その他】

- 材料は、必ずセット(下塗材、上吹材)でご使用ください。
- 塗膜の裏面に雨水がまわり込まないように納まり、取り合い部などの防水処理は十分に施してください。



営業本部 〒510-0101 三重県四日市市楠町小倉1058-4 ☎059-397-2187 FAX059-397-6191  
 研究開発本部 〒510-0851 三重県四日市市塩浜町1 ☎059-346-1116 FAX059-346-4585

札幌支店 ☎0133-60-6311 東京支店 ☎03-5661-2211 名古屋支店 ☎052-411-1255  
 大阪支店 ☎072-862-1601 広島支店 ☎082-277-1116 四国支店 ☎0877-24-4621  
 九州支店 ☎092-938-0071

URL <http://www.suzukafine.co.jp/>

工程	塗材	調合 (重量比)	標準所要量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗回数	間隔時間 (23℃)	施工方法
1 下地調整	・下地は十分に乾燥させる。(含水率10%以下、pH10以下) ・こみ、汚れなどは除去し、段差・巣穴などは、ラフトンフィルター塗りで、平滑にする。					

■ラフトンスタック  
吹き出し仕上げ

2 下塗り	ラフトンEMシーラー 清 水	100 10~30	0.07~0.11	1	2時間以上	エアレス塗り・ローラー塗り
3 主材吹き	基層塗り ラフトンスタック 清 水	100 12~16	0.7~1.1	1	3時間以上	吹付け / 圧入 57mm口径 (吹付圧0.4~0.5MPa)
4 主材吹き	模様吹き ラフトンスタック 清 水	100 0~3	3.3~3.8	1	(凸部処理) 30分以内 (上塗り) 24時間以上	吹付け / 圧入 57mm口径 (吹付圧0.3~0.4MPa)

・吸い込みが著しい下地などの場合は、下塗りにビナクルシーラーまたはラフトンエポキシシーラーをご使用ください。  
 ・ALC/パネル下地の場合は、スズカブラフサなどで全面に下地調整してください。

凸部処理仕上げ

5 凸部処理 (主材模様吹き後、30分以内に塗料用シンナーを湿したカットローラーで主材の凸部を均一に押える。)

■ラフトンスタック (つや有り仕上げ)

2 下塗り	ラフトンEMシーラー 清 水	100 10~30	0.07~0.11	1	2時間以上	エアレス塗り・ローラー塗り
3 主材吹き	基層塗り ラフトンスタック 清 水	100 12~16	0.7~1.1	1	3時間以上	吹付け / 圧入 57mm口径 (吹付圧0.4~0.5MPa)
4 主材吹き	模様吹き ラフトンスタック 清 水	100 0~3	3.3~3.8	1	(凸部処理) 30分以内 (上塗り) 16時間以上	吹付け / 圧入 57mm口径 (吹付圧0.3~0.4MPa)

凸部処理仕上げ

5 凸部処理 (主材模様吹き後、30分以内に塗料用シンナーを湿したカットローラーで主材の凸部を均一に押える。)

5 上塗り  
ラフトンEMエナメル  
清 水

5 上塗り  
ビュレツや消し  
清 水

■ラフトンスタック (つやなし濃色仕上げ)

5 上塗り  
ラフトンスタックベース  
清 水

5 上塗り  
ラフトンEMエナメル  
清 水

5 上塗り  
ラフトンEMエナメル  
清 水

吹き出し仕上げ

2 下塗り	ラフトンEMシーラー 清 水	100 10~30	0.07~0.11	1	2時間以上	エアレス塗り・ローラー塗り
3 主材吹き	基層塗り ラフトンスタック調合品 清 水	100 12~16	0.7~1.1	1	3時間以上	吹付け / 圧入 57mm口径 (吹付圧0.4~0.5MPa)
4 主材吹き	模様吹き ラフトンスタック調合品 清 水	100 0~3	3.3~3.8	1	(凸部処理) 30分以内 (上塗り)	吹付け / 圧入 57mm口径 (吹付圧0.3~0.4MPa)

・吸い込みが著しい下地などの場合は、下塗りにビナクルシーラーまたはラフトンエポキシシーラーをご使用ください。  
 ・ALC/パネル下地の場合は、スズカブラフサなどで全面に下地調整してください。

凸部処理仕上げ

5 凸部処理 (主材模様吹き後、30分以内に塗料用シンナーを湿したカットローラーで主材の凸部を均一に押える。)

5 上塗り  
ラフトンEMエナメル  
清 水

用途

建築物・外壁・内壁・天井

適用下地

コンクリート・モルタル・PCパネル・ALC/パネルなど

容量

☆スズカリシン	20kg	☆ラフトンスタック白及び淡彩色	20kg
☆スズカリシンベース	20kg	☆ラフトンスタックベース白及び淡彩色	20kg
☆ラフトンシリカリシン	20kg	☆ラフトンEMエナメル	16kg
☆スズカローラーシン	20kg	☆ビュレツや消し	16kg
☆ラフトン弾性リシン	20kg	☆ラフトン弾性スタック白及び淡彩色	20kg
☆ラフトンEMシーラー	18kg	☆ラフトン弾性EMエナメル	16kg
☆サミブラ	14kg	☆エコウレタン	16kg

取扱上の注意事項

- ・取扱いは、皮膚に触れないようにし、必要に応じて下記の保護具を着用してください。
- ・防護マスク・頭巾・保護めがね・長袖の作業着・えり巻きタオル・保護手袋・前掛けなど
- ・容器から取り出す時に、こぼれないようにしてください。
- ・もしこぼれた場合には、布やウエスで拭き取るか、砂などを散布したのち処理してください。
- ・皮膚に付着した場合には、直ちに多量の石けん水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化があるときは、医師の診断を受けてください。
- ・蒸気・臭いなどを吸い込んで気分が悪くなった時には、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診断を受けてください。
- ・目に入った場合には、直ちに多量の流水で洗い、できるだけ早く医師の診断を受けてください。
- ・誤って飲み込んだ場合には、直ちに医師の診察を受けてください。
- ・取扱い後は、手洗い・うがい・鼻孔洗浄を十分に行ってください。
- ・容器は密閉し、40℃以下で子供の手の届かない一定の場所を定め保管してください。特に下記の場所の保管は避けてください。
- ・雨や直射日光の当たる場所・高温多湿の場所・潮風の当たる場所・凍結の恐れのある場所など
- ・捨てる時は、産業廃棄物として処分してください。
- ・詳細な内容が必要な時は、安全データシート(SDS)をご参照ください。
- ※溶剤系塗料を使用する時は、上記の注意事項に合わせて下記注意事項に注意してください。
- ・引火性の液体ですので、火気のあるところでは使用しないでください。
- ・有機ガス用防毒マスクまたは送気マスク・頭巾・保護めがね・長袖の作業着・えり巻きタオル・保護手袋・前掛けなど
- ・臭いは食品・飲食物・衣類などに、うつる場合がありますので、作業場所から遠ざける、または養生するなど、十分に注意してください。
- ・容器から取り出す時は、こぼれないように注意してください。もしこぼれた場合には、布で拭き取って、水の入った容器に保管してください。
- ・火災時には炭酸ガス消火器、泡消火器、または粉末消火器を用い初期消火をしてください。
- 注：各製品の容器には、取扱上の注意事項などを記載していますので、必ずお読み頂き、正しく安全にご使用ください。